

(行 田 市)選挙管理委員会マニフェスト・シート

選挙期日:平成23年4月10
 選挙名:埼玉県議会議員一般選挙

■目標設定・活動計画、自己評価

事務分類	目標設定・活動計画				自己評価	
	取組内容	目標	期待される効果	目標を達成するための 具体的活動	結果	所見
1 広報・啓発	懸垂幕・横断幕・啓発看板の見直し	啓発看板の数を1割以上削減する	・費用削減 ・啓発看板の必要性の認識の向上	啓発看板設置場所を地図にプロットし、必要性を相対的に判断する。	啓発看板を地図上に示して検討した結果、集中している場所や、効果が薄いと考えられる場所を削減した。(23本⇒20本) 目標達成率は100%となった。	啓発看板を数本削減しただけでは費用削減効果はわずかであるが、これをきっかけとして、効果的な啓発とは何かについて考えるきっかけとしたい。
2 投票	投票所の数・場所・従事者数の見直し	従事者の適正配置・削減	・費用削減 ・事務量に対する認識の向上	・過去の配置数の確認 ・本部職員数の検討	昨年の参議院議員通常選挙より各投票所とも1名、本部職員を2名削減した。現状において考えられる配置としては最小限に近いと考えられるが、投票所数の削減に取り組めていないことから、目標達成率は70%とした。	事務量を相対的に検討することまではできなかったことから、今後は、投票事務の総量と必要となる従事者数についての検討を更に進めていきたい。あわせて、投票所の統廃合についても検討したい。
3 開票	目標時間の設定	22:00までに開票を終了する。 (開票開始21:00)	・開票時間が短縮され、開票結果が早く発表でき、経費削減にもつながる。 ・従事者全員が同じ目標を共有することにより、職員の意識が向上する。	・会場レイアウトの検討 ・点検台のかさあげ ・説明会での目標時間の周知徹底	開票終了は22:10であり、開票終了目標時間は達成できなかったことから、目標達成率は85%。ただし、従事者数は前回の参議院議員通常選挙(県選出)と比較して34%削減できており、経費は大幅に削減できてたと考えられる。	従事者を増やすことにより開票時間は短縮できるが、経費が増加する。その逆も考えられ、どの程度の人数で、どの程度の時間を目標にすることが適切であるか検討を続けたい。また、従事者全員が選挙を自分の仕事として積極的に取り組むための方策を考えたい。
	中間発表の廃止	第1回の中間発表までに、開票を終了する。(終了しない場合でも中間発表にかかる作業を最小限にとどめる。)	・点検済みの票を調整しながら立会人・管理者に回付する作業がなくなり、開票効率が上がる。 ・開票時間が短縮され、開票結果が早く発表でき、経費削減にもつながる。	・極力、第1回の中間発表時間までに開票を終了する。 ・中間発表を行う場合でも票の流れの調整は行わず、0票等の手間のかからない発表内容とする。	開票時間が22:00を超えたため、中間発表を行った。その際、特に票数の調整等は行わなかったことから、目標は概ね達成できたと思われる。このため、達成率は70%とする。	開票開始後早い時間帯での中間発表や間隔の短い発表は開票作業の負担になることを改めて再認識した。今後は、中間発表の廃止、できない場合はなるべく初回を遅い時間にしよう、はたらきかけて行きたい。

■上記以外の目標設定・活動計画、自己評価

事務分類	目標設定・活動計画				自己評価	
	取組内容	目標	期待される効果	目標を達成するための 具体的活動	結果	所見
1						
2						

3							
---	--	--	--	--	--	--	--